

第2回学校協議会記録(要旨)

1 日時：2011.02.02.(水) 16:15 ~ 18:15 於：校長室

2 協議会委員

- ・ 協議会会長 長谷川耕三 近畿大学入試センターアドミッションオフィサー
- ・ 協議会委員 長 安廣 本校PTA会長
- ・ 協議会委員 喜多希久代 本校旭友会副会長
- ・ 協議会委員 宮脇 悦代 大阪市立旭陽中学校長(欠席)

3 校長挨拶・趣旨説明

次の2点により、生徒が入ってよかった学校となるために役立てたい。

- ① 生徒との懇談を通じ、旭校生の現状をご理解いただきたい。
- ② 学校教育自己診断結果についてご意見をいただき、今後の参考にしたい。

4 生徒会生徒との懇談

学校のこと、クラブや生徒会活動のこと、勉強時間などについて、生徒会顧問・校長・教頭同席の中、和やかに懇談することができ、旭校生の現状をご理解いただくことができた。

5 本年度の取り組み説明

(1) 平成22年度進路状況(途中経過) ~ 進路指導部より

- ・ 3年 … 上位校への公募制推薦の合格者や国公立大学の受験数が増加するなど、大学進学実績での変化が見られる。
- ・ 1・2年 … 進路に関わる意識の変化により、2月の外部模試受験数が増加している。

《質疑・応答》 外部模試増加の背景は

- ① 統一した生活指導の取り組みで在校生・入学生徒の状況が改善された。
② 学習指導・進路指導に教科・学年が意欲的に取り組んでいる。

(2) 学校教育自己診断について ~ 首席より

- ・ 3年間、同一内容により経年変化を調査中で、本年度分について現在分析中である。
- ・ 「学校に行くのが楽しい」などが好評価であり、不十分点として学校施設関連などがある。
- ・ 普通科では「進路実績」に注目する保護者が多い、国際教養科では「国際交流」への注目度が高いなどの学科による特徴がある。

(3) 授業評価について他 ~ 首席より

- ・ 経過 … 2学期、全学年で全教科・科目の授業評価アンケートを実施した。
アンケート結果を受け、よりよい授業に向けて教科で取り組み中である。
次年度以降の実施内容についても検討中である。
- ・ その他 … 平成23年度入学生「志学」・平成24年度入学生徒教育課程の検討を進めている。

(4) 広報活動について ~ 首席より

- ・ (主要な取り組みとして)7月から8月の中学校訪問、10月・11月の2回の学校見学会、6月から11月の各種学校説明会へ参加。教職員が協力して広報活動に取り組んでいる。

(5) 国際交流について ~ 図書教養部

- ・ 留学 … 海外からの長期・短期留学生を多数受け入れている。
本校から長期留学する生徒もいる。
- ・ 修学旅行 … 普通科・国際教養科ともに、平成22年10月12日から10月16日、シンガポール・インドネシアを訪れた。

- ・ 姉妹校受入 … 姉妹校3校(7月ドイツ・9月オーストラリア・11月タイ)との国際交流を本校で行った。
P T Aの協力を得て、校内外で各種イベントを実施した。
オーストラリアのアデレードハイスクールとは、隔年相互訪問を行っている。
交流は本校生徒にとって貴重な体験になっている。

《意見》 多様性を感じることができる貴重な経験である。

(6) 遅刻指導について他 ～ 生活指導部より

- ・ 遅刻指導 … 授業を大切にするため、遅刻指導をしっかりと行っている。
成果として、遅刻数の激減や生徒の自覚が高まった。
次年度から、全学年で朝8:35のショートホームルームを実施する。
- ・ 携帯電話指導 … 携帯電話への依存からの脱却のため、学校では電源OFFの指導をしている。

《意見》 遅刻指導により、特に今年度の1年生で遅刻回数が大きく減少していることがわかる。

《質疑・応答》 携帯電話指導の内容は
→ 停学を含め、段階的に指導している。

6 協議

《意見》 生活指導は保護者との連携が必要であり、指導内容を機会をとらえ保護者に周知することが大切である。

《質疑・応答》 学校教育自己診断アンケートでは、勉強時間が少ない生徒が多いが、真面目な生徒が多いことを考えると、宿題による勉強(時間)の増加を図るのはどうか。

→ 予習・復習など1・2年からの計画的な学習は必要である。

また、質問項目の再検討によってもう少し詳しく実態把握をすることも必要である。

《意見》 生徒の進路実現に向け、校外模試受験による実力把握が重要である。公立高校からの大学進学者は、大学進学後の「のびしろ」が大きいので、学校は自信を持ち生徒のレベルアップに努めてほしい。

7 校長謝辞

- ・ 以下の3点について提言していただき、また、その重要性を認識し今後に生かす。
 - ① 基本的な生活習慣の確立について、家庭との連携を一層密にしながら、取り組みたい。
 - ② 学習習慣の確立という点で、生徒の学習状況をしっかりと把握し、対策を検討する。
 - ③ 目標を持ち、学習・行事・クラブ活動などさまざまな分野で頑張る生徒の育成をめざし、その支援ができる強力な学校体制を築きたい。